

問題@5: 北陸新幹線の開業を控え、現在脚光を浴びている石川県金沢市。その金沢市から毎年7月1日、板橋区に「あるもの」が贈られています。それは何でしょう!

答え@5: 「氷室の雪氷(ひむろのゆきごおり)」です!

江戸時代の町名主で文人であった斉藤月岑(げっしん)が記した『東都歳時記』6月1日の項には、「○氷室御祝儀(賜氷の節)加州侯(加賀藩主前田家のこと)御藩邸に氷室ありて今日氷献上あり。町家にて、旧年寒水を以て製したる餅を食して、これに比(なぞ)らう」とあります。

このように6月1日に加賀藩前田家より徳川将軍家に贈られる「氷室の雪氷」は、江戸の庶民にも広く知られた行事でした。

現在でも金沢市では、7月1日(旧暦の6月1日)を「氷室の日」と呼び、氷室まんじゅうを食べたりしているほか、金沢の奥座敷といわれる湯涌温泉の氷室から取り出された貯蔵雪を市長や県知事に献上するイベントが開かれています。この貯蔵雪が板橋区にも贈られてきているのです。

なお当時献上されていた氷は、加賀藩邸の土中に雪を固めてつくられた氷室で貯蔵されていたもので、将軍の御前に差し出されたのち、奥女中一同にも下されました。

今では板橋に暑い夏の到来を知らせる使者となった「氷室の雪氷」。皆さまもぜひ贈呈式にお越しください。

【クイズの参考文献・サイト】

- ・斉藤月岑(朝倉治彦校注)『東都歳時記2』(東洋文庫177 1970年)
- ・金沢市立玉川図書館「藩政文書を読む会」編『昔の十二月』(能登印刷出版部 1999年)
- ・竹内誠ほか編『徳川「大奥」事典』(東京堂出版 2015年)
- ・金沢旅物語サイト「金沢の夏のおやつ『氷室まんじゅう』&『ささげ餅』
- ・板橋区公式サイト「金沢から『氷室の雪氷』が届きました！」(2014年8月29日)

【加賀藩の歴史や加賀藩下屋敷に関する文献(主なもの)】

板橋区公文書館には、加賀藩の歴史や加賀藩下屋敷について調べるための文献が所蔵されています。北陸新幹線の延伸開業をきっかけに、友好交流都市金沢市の歴史の一端に皆さまもふれてみませんか!

- ・『文化財シリーズ第10集 中山道板橋宿加賀藩下屋敷跡払下文書(上)』(板橋区教育委員会 1970年)
- ・『文化財シリーズ第19集 中山道板橋宿加賀藩下屋敷跡払下文書(下)』(板橋区教育委員会 1976年)
- ・『文化財シリーズ第60集 加賀藩下屋敷平尾邸拝領一件』(板橋区教育委員会 1989年)
- ・『中山道板橋宿と加賀藩下屋敷』(板橋区立郷土資料館 2010年)
- ・『金沢市史』(金沢市 1992~2006年)
- ・奥山正『加賀藩江戸下屋敷』(「加賀藩江戸下屋敷」刊行会 1987年)



【写真1】加賀前田家下屋敷跡にたつ石碑



【写真2】石神井川のこじ灯籠型オブジェ



【写真3】下屋敷跡友好交流都市の記念碑



【写真4】氷室の雪氷贈呈式(平成22年)